

地域おこし協力隊活動報告書

活動団体	NPO 法人 穎娃おこそ会
役職	
氏名	福島 花咲里 (かざり)
着任日	令和 2 年 2 月 1 日

活動月	令和 2 年 11 月 (着任 10 ヶ月)
主な活動	1. 「KKB かごしまひと最前線」取材に同行 2. 鹿児島県伊佐市の空き家再生ワークショップに参加

1. 「KKB かごしまひと最前線」取材に同行

11 月の上旬に穎娃町で、かごしまひと最前線 (KKB にて放送) の取材がありました。取材のメインは、NPO 法人 穎娃おこそ会で空き家再生プロジェクトのリーダーを務める加藤さんです。石垣にあるシェアオフィス ふたつや、の撮影から始まり、最後は、現在少しずつ改修が進んでいる 10 軒目の空き家再生物件「空き家再生研究所」でのインタビューで締めくくりました。

移住者の 1 人として、わたしも取材に同行させていただき、数秒ですがテレビにも映ることができました。放送された内容は、KKB の HP から。ぜひご覧ください。

▼かごしまひと最前線 放送アーカイブ

http://www.kkb.co.jp/jisya/saizensen/index.php?h_date=20201121



(撮影の様子)



(放送された内容より引用)

2. 鹿児島県伊佐市の空き家再生ワークショップに参加

穎娃町以外の空き家再生現場に興味があったことから、伊佐市で行われた空き家再生ワークショップに参加しました。主催は現地で地域おこし協力隊として活動している、林さんです。

南国鹿児島とはいえ、県内でも北の方に位置する伊佐市では、冬は氷点下まで気温が下がる日も多らしく「命を守るための断熱」ということで、実践だけでなく座学も行われました。その後は実践に移り、寒さ対策として、ふすまにポリカボードを設置したり、天井裏に上って断熱材を設置したりしました。



穎娃町に戻った後は、早速ポリカボードを購入し、自宅の断熱対策を。参加する前は工具や技術がないと難しいかも……とと思っていましたが、意外にもポリカボードはカッターで切れるし、両面テープを使うのも有りということで、断熱に対するハードルがグッと下がりました。

古民家暮らしは寒さとの戦いではなく、良い意味で共存できるような工夫が必要です。

